



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

晴れやかに20周年式典 地域ぐるみで節目祝う

志津南小学校の創立20周年記念式典が10月21日、同校体育館で開催され、地域ぐるみで節目を祝いました。



体育館で行われた20周年式典

秋晴れのこの日、式典には全校児童のほか、保護者や来賓あわせて約500人が出席。生徒たちの校歌斉唱に始まり、早川周作実行委員長、上田恒章地域協働合会会長らが祝辞を述べたあと、お祝いのメッセージを込めた各学年の児童による発表が行われました。
3年生の元気な合唱を皮切りに、1年生は身振り手振りを入れた「サラダで元氣」を笑顔いっぱい群読、記念の年に入学した私たちは頑張つてよい学校を作っていきたいです。20周年

おめでと〜と大きな声で。2年生、4年生もそれぞれ群読を発表し、5年生は組み体操を披露。
また6年生は「コンドルのように志津南小学校も飛躍するように」との思いを込めて「コンドルは飛んでいく」を力強く合奏しました。
最後に鷹羽美榮子校長が「無事に20周年を迎えられ感謝しています。次の30周年を迎え

られるよう、地域のみなさんに愛される学校を目指します」と、お礼の言葉を述べました。
式典のあと、フルート演奏家の下村智里さんとそのメンバーによる演奏が行われ、優雅な音色に式場にはゆつたりしたひとときが流れました。続いて笑いあり、かけ合いの桂三風さんの楽しい落語講演が行われました。子どもたちはおもしろい話に夢中で、楽しく落語の世界に溶け込んでいました。
休憩を挟んで児童全員が校庭で記念植樹。夢を持って大きく育つことを願ってあすなるの苗木2本を植樹、式典を締めくくりました。
(龍大学生取材班)

防災訓練に百三十人が参加 地震体験や消火器操作学ぶ

平成18年度の若草地区交通防犯部の防災訓練が10月28日、若草中央公園と志津南市民センター(公民館)を会場に行われ、子どもを含め約130人の住民が参加しました。
訓練は若草1丁目から8丁目と岡本町の3班に分かれ、防災講話(ビデオと講話)、消火訓練、グラドン号による地震体験の3つのメニューで行われました。なかでもグラドン号による地震体験が子どもたちの興味を引いたようで、お母さんと一緒に実際の地震を体験、振動の激しさに驚いていました。
また阪神淡路路地震のビデオや話を聞いての消火訓練では、実際に消火器を使って真剣な表情で消火活動に取り組んでいました。このほか、グラドン号で

志津南HP

画面更新、電子アンケートも

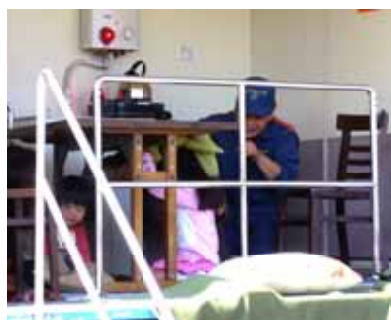
見やすい画面、情報コンテンツの充実など、志津南ホームページの魅力アップを進めている自治連の若草ネット委員会作業部会(森洋二郎部会長)は、これまでにフロント画面を一新したほか、個々の情報についても見直しを進め、地域の情報媒体力強化に努めています。



志津南ホームページは、草津市の地域情報化プログラムのモデル事業をきっかけに、まちづくりの手段の一つとして自治連が若草ネット委員会を設置し取り組んでいるもので、昨年5月

作業部会では、このホームページを暮らしに役立ち、より身近で親しめるものにしていくため、ホームページの画面上でアンケートを実施しています。アクセスされた方はぜひ回答してください。よろしくお願いします。
(若草ネット委員会)

地震の怖さを伝えるパネルを展示、地震の恐ろしさを訴えるとともに、AED(緊急救助)の



グラドン号で地震体験

実地体験もあり、緊急救助の重要性について再認識しました。
訓練はそれぞれ約30分、計2時間行われましたが、参加者は普段は体験できない災害の怖さを実感すると同時に対処法を学ぶなど、いざという時の備えの大切さを感じていました。
訓練実施に際して多大な協力をいただいた湖南広域行政組合西消防分署のスタッフに紙上を借りてお礼申し上げます。
(交通防犯部)

福祉のまちめざして

住民懇談会で活発な論議



4グループに分かれ意見交換

（公民館）で行われました。懇談会には各町内から約40人の住民が参加、予定の時間を大幅に超えて熱心な意見交換が行われました。

懇談会は4つのグループに分かれ、ワークショップ方式で進められましたが、どのグループもなごやかな雰囲気の中にも当該地域の高齢者のこと、子育てのこと、学童のこと、障害者のことなど、福祉にかかわる課題について真剣な話し合いが行われました。

話し合いで共通していたのは

「思いやりのある、人に優しい、共に助け合う、それらが当たり前である町。隣同士が助け合う町、他人が子どもを叱りつけていることが当たり前なこととして受け入れられる町をみんなで作っていくこと」でした。

そのためには、まず人と人が知り合うこと、町づくりに関する情報を共有することが不可欠であるとの意見に多数が賛同しておられたことは、今後の進むべき方向を示しているように思われます。

社会福祉協議会では、これらの意見を尊重し、福祉の町づくりに取り組んでいきたいと考えます。（社会福祉協議会）

今回はセンターでのハロウィンとなりしました。

かぼちゃでハロウィン

南っ子が菓子づくり楽しむ



カボチャでプリンづくり

「わんぱくプラザ南っ子」の「ハロウィンを楽しもう」が10月28日午後、志津南市民センター（公民館）で行われ、親子ら30人がお菓子づくりなどを楽しみました。南っ子のハロウィンは、これまで子どもたちが手づくりの衣装を身につけ、町内の家を回っていましたが、

子どもたちは、電子レンジでやわらかくしたかぼちゃの身をくり抜いたり、団子を丸めたり大奮闘。調理室にはかぼちゃの甘い匂いがたちこめ、熱気にあふれました。小さなかぼちゃが器になったプリンが冷蔵庫で冷し、この日のお

最後にハロウィンの飾りつけをした会議室でミニコンサート。湖南ギターアンサンブルのハロウィンらしい「オズの魔法つかい」「魔女の宅急便」の演奏を聴き、ハロウィン気分を満喫しました。

学習懇談会を終えて

平成18年度志津南地区人権学習懇談会が、10月7日から28日にかけて各町内会で行われました。懇談会には行政職員も加わり地域全体で1000人を超える方々が参加、集団討議、グループ討議の形式で熱心な話し合いが行われました。

人権という難しいテーマでの話し合いでしたが、これまであまり顔を合せすることも、話したこともない人たちが懇談する機会を持てたことは有意義でした。特に地域で人権問題といえれば同和問題となりがちですが、差別問題は男女、障害者、子ども、土産に。

頃合いを見計らって、調理室に魔法使いに扮した実行委員と所長が現われると、子どもたちは「ハッピー！ハロウィン」と歓声を上げて迎えました。

高年齢者を対象にした志津南公民館の「やすらぎ学級」が10月25日開かれ、「これからの季節の交通安全対策」をテーマに、草津栗東交通安全協会事務局の上村傑さんから高齢者の交通事故について話を聞きまし

多発する高齢者の事故

やすらぎ学級で対策学ぶ

一人ひとりの人間がともに幸せに暮らすにはどうすればよいのか、ここで言う「同和」という言葉にはどういった意味合いが含まれているのか、その「和」という文字に聖徳太子の「和を以つて尊しとなす」という言葉が浮かんできます。「和を以つて」とはみんな同じ、だから仲良くしましょう、ではなく、そ

宗教、人種など多岐にわたり、そこに深く傷つき苦しみ人々が存在します。

学習懇談会に参加して、他者の痛みを己の痛みとして共感することができたら、また、一人ひとりがその意識を高めて考えることができれば、少しずつではあります、差別問題解決への前進につながるのではないかと感じました。ご協力ありがとうございました。（同推協会長 森崎高志）

最後にハロウィンの飾りつけをした会議室でミニコンサート。湖南ギターアンサンブルのハロウィンらしい「オズの魔法つかい」「魔女の宅急便」の演奏を聴き、ハロウィン気分を満喫しました。

高年齢者を対象にした志津南公民館の「やすらぎ学級」が10月25日開かれ、「これからの季節の交通安全対策」をテーマに、草津栗東交通安全協会事務局の上村傑さんから高齢者の交通事故について話を聞きまし

た。上村さんは「交通事故の大半は高齢者で、しかも居住地域近辺での発生率が高い。これは日常生活で慣れた環境や油断が原因と思われる。歩行者もドライバースも、日によって体調や気分が異なることを自覚し、自分

それぞれが違う個性を持った人間同士が、その違いをお互いに認め合って、その上でともに手を携えてやっていく、その事が大切なんだよ、と説かれたのだと理解しています。

学習懇談会に参加して、他者の痛みを己の痛みとして共感することができたら、また、一人ひとりがその意識を高めて考えることができれば、少しずつではあります、差別問題解決への前進につながるのではないかと感じました。ご協力ありがとうございました。（同推協会長 森崎高志）

で防備することが大切」と自覚を促し「また防災、防犯対策には各自それぞれが防備しているが、確率ではこれらと比較しても問題にならないほど高い高齢者の交通事故に対してはほとんど無防備だ」と事故対策の難しさを指摘しました。

その上で「自転車に乗る時、夕暮れ時や夜間の外出時には目立つ服装や反射材の着用など、それ相応の防備をしてほしい」と訴えました。

その上で「自転車に乗る時、夕暮れ時や夜間の外出時には目立つ服装や反射材の着用など、それ相応の防備をしてほしい」と訴えました。

まちにホタルを呼び戻そう

第一回ホタルを楽しむ学習会



公民館で行われたホタル学習会

子さんが、ホタルの生態や棲みやすい環境とその保全などについて話しました。

地域における保全活動について、荒井さんは「ホタルが生息できる川の環境を守り育てていくには、地域の人々の理解と協力、行政を含めて一緒に活動していくことが大切」と前置き、「ホタルの復活に向けて生態系を考えながら、長期的、継続的な取り組みが必要」と訴えました。

第1回「草津でホタルを楽しむ会」学習会が10月23日、志津南市民センター（公民館）で開かれ、大津千丈川ホタル保存会・ホタルの学校代表の荒井紀



鮮やかに富田人形を操る阿部さん夫婦

志津南市民センター（公民館）の「古今東西」の館外講座が9月20日行われ、長浜市の富田（とんだ）人形浄瑠璃、高月町渡岸寺の国宝・十一面観音拝観のため湖北方面へ出かけました。

人形浄瑠璃と観音の里

公民館講座「古今東西」で

この日の参加者は22人。すばらしい秋晴れの中、チャーターバスで長浜市の富田人形会館に向かいました。同館では富田人形共遊団の阿部秀彦団長から人形浄瑠璃・富田人形について話を聞きました。阿部さんと妻のスエ子さんは「乙女」



て人形浄瑠璃を紹介、指導するなど日

秋の水郷めぐり楽しむ

近江八幡へ高齢者バスツアー



笑顔でカメラに収まる参加者

光に出会えるようみんな地域環境を守り育て行くことを確認しました。

（学習会世話役 鈴木道弘）

も心地よい近江八幡の水郷めぐりを堪能しました。

ボランティアグループ「泉」は10月6日、高齢者バスツアーを実施、32人の参加者は秋風

バスで船着場に到着した参加者たちは12人乗りの遊覧船3隻に分乗、葦原を縫う水路を進みながら、秋晴れにきらめく湖面の彼方に浮かぶ比良の山並みや沖島、姨崎山中腹にある西国33か所めぐり31番札所長命寺など秋色に染まりつつある風景を満喫しました。

が八幡山にある」など、船頭さんの説明に耳を傾けるとともに、静けさを破る水鳥の羽音や可憐な黄色いハスの花など「日本の水郷」といわれるゆつたりとした自然風景に心洗われるひと時を過ごしました。

ワードでポスターづくり

志津南市民センターは、10月19日と26日の2日間、IT講座「ちらし・ポスターをつくる」を開催しました。

この講座はワープロソフトのワードの機能を応用して、より視覚的な文書のつくり方を学んでもらおうというものです。



苦心しながらポスターづくり

午後7時開始の講座ながら9人が受講、図形の描き方や色の声が起こりました。

人形劇「おにぎり村」公演

湖南市の人形劇団「おにぎり村」（地区民生・児童委員主催、同社会福祉協議会共催）の公演が11月20日午前10時30分から志津南市民センター（公民館）で行われます。おにぎりのようにぬくもりのこもった人形劇を子どもたちと一緒に楽しみみ下さい。お年寄りのみなさんもお喜びご参加を。入場無料。

（龍大学生取材班）

こみ

- 11月18日(土) 紳士淑女の井戸端会議 若寿会健康ウォーキング 8:45 中央公園集合
- 11月19日(日) 志津南地域協働校 親子ふれあいハイキング(桐生) 9:30~15:30
- 11月22日(水) やすらぎ学級 「秋の湖南三山」(館外) 9:00~16:00
- 11月24日(金) 志津南公民館の清掃と消防訓練 9:00~11:30
- 11月26日(日) ソフトボール&ニュースポーツ大会 9:00~15:00 志津南小学校
- 11月28日(火) 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 11月29日(水) IT講座 「年賀状をつくろう」 13:00~16:00
- 12月1日(金) 定例健康相談 10:00~12:00 ふれあい昼食会 12:00~13:00
- 12月2日(土) 紳士淑女の井戸端会議 若寿会健康ウォーキング 8:45中央公園集合
- 12月8日(金) 講座「年金と税」 講師：草津税務署 10:00~11:30
- 12月9日(土) わんぱくブラザ南っ子 10:00~12:00
- 12月11日(月) シニアクッキング 10:00~14:00
- 12月12日(火) 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 12月16日(土) ふれあいミュージックソン&Xmasパーティー 13:00~21:00 17:00 印の会場は志津南公民館



地域の憩いの場

ランチ&カフェ トムソーヤ



ランチとカフェの店「トムソーヤ」は若草ショッピング・モールの店舗街にある。木材で統一され



た内装と展示されている刺繍や陶器とあいまってレトロな雰囲気を出している。落ち着いた空間でゆっくりと時間の流れを楽しむことができる。

三本木哲郎さん(57)と好子さんが経営する。業界用語で「居抜き」という

スタートした。「トムソーヤ」という店の名もそのままだ。ランチ(七百八十円、コーヒー付きで九百円)はご主人の哲郎さんが主菜を担当し、奥さんの好子さんが副菜を担当する。日替わりランチは魚、肉、フライの3種類から選ぶことができる。ランチは主菜と副菜2品、味噌汁、「ごはん」デザートでセットになっている。

カフェメニューは季節ごとに用意されており、秋のメニューは本格的なりーフティーと手作りシフォンケーキ、秋のスイーツなど変化をつけている。コーヒー、紅茶(三百八十円)と一緒にいかが。

高齢者が多いことから健康に配慮。野菜中心のメニューを心がけているほか、近江八幡のコシヒカリ、野菜は有機栽培に限定するなど、こだわりをみせる。店一番の特徴は日替わりメニュー

場所 草津市若草5丁目8-6 ショッピングモ-ル若草内 電話 (5665) 4688 営業 11時~18時 定休 第2、第4土曜と日祝日

みんなの広場

大相撲九州場所が始まりました。昔は「一年を十日で暮らすよい男」などとやつかみ半分に言われたお相撲さんも、今は年6場所に地方巡業やボランテイアなど大変です。けがなく元気にやつて

夢のような話

もらいたいものです。私たちがも一日8時間働いた上、残業、休日出勤と身も心もくたくたところが、夢のような話が奈良市でありました、現代版「5年を8日で暮らすよい男」です。報道によれば、市の職員が5年間で出勤がたった8日。病欠しながら給与はほぼ満額支給、ポルシェに乗って自分の職場で「口利き」とのこと。

の採用問題など、次々発覚しました。このような不祥事は「丸投げ」したからこそ、と思えます。行政自らが「しっかり」決着をつけるよう見守っていく必要があります。ちなみに、私の好きなお相撲さんは、現役時代の鶴ヶ嶺、逆鉾、寺尾、千代の軍士、いまご三方は親方としても格好いいです。人気力士の高見盛、風格も出てきた横綱朝青龍、勝ってくれたらお酒がうまいのです。(若草2丁目 Y)

ほかにも、大阪の芦原病院の破綻、八尾の恐喝、京都市職員

お知らせ

恒例の秋の一斉清掃が11月26日実施されます。午前8時30分に所定の場所に集合ください。

なお、同時に「ソフトボール大会」と「ワンツーシユート大会」が行われます。ソフトボール大会に出場される方や運営にご協力いただく方は8時30分に志津南小学校グラウンドにご集合下さい。「ワンツーシユート大会」出場者は清掃作業終了後に体育館にご集合ください。(自治連合会)